

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月16日

静岡市長
難波 喬司 殿

提出者

住所 静岡市駿河区石田1丁目3番29号
 氏名 大和ハウス工業株式会社 静岡支店
 支店長 渡辺 忠彦
 電話番号 054-284-4811



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 静岡支店
事業場の所在地	静岡県静岡市駿河区石田1丁目3番29号
事業の種類	D 建設業 : D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年 4月1日～令和5年 3月31日

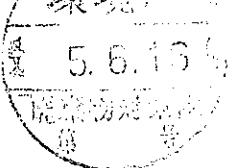
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,067.96 t	全処理委託量	3,067.96 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	418.76 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	2,840.76 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	192.24 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

環境

5.6.16



令和4年度 産業廃棄物処理計画実施状況

産業廃棄物の種類	ビニル チック	ガラス (石膏合付)	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス 陶磁器 (石膏合付)	ガラス 陶磁器 (水銀瓶 用)	がれき類	がれき類 (石膏合付)	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	廃油	混合廃棄物/ 解体系混合	鉱石類等/ 特定廃石類等	合計	
令和4年度の実績	①排出量	119.91	2.30	379.53	243.61	8.40	0.01	4,346.61	96.80	19.44	152.06	1.54	155.40	0.07	46.00	0.00	5,571.68
	②+③自ら再生利用を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑪全処理委託量	119.91	2.30	379.53	243.61	8.40	0.01	4,346.61	96.80	19.44	152.06	1.54	155.40	0.07	46.00	0.00	5,571.68
	⑫優良認定処理業者への処理委託量	75.11	2.30	38.28	147.13	8.40	0.01	2,746.37	96.80	9.90	118.20	0.79	91.20	0.07	26.00	0.00	3,360.56
	⑬再生利用業者への処理委託量	0.42	0.00	379.53	230.12	0.00	0.01	4,345.81	0.00	15.75	108.17	1.38	143.40	0.07	20.00	0.00	5,244.66
	⑭熱回収認定業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	115.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.67	43.89	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	163.54

令和5年度 産業廃棄物処理計画（目標）

産業廃棄物の種類	ビニル チック	ガラス (石膏合付)	金属くず	ガラス 陶磁器	ガラス 陶磁器 (石膏合付)	ガラス 陶磁器 (水銀瓶 用)	がれき類	がれき類 (石膏合付)	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	廃油	混合廃棄物/ 解体系混合	鉱石類等/ 特定廃石類等	合計	
令和5年度の目標	①排出量	107.91	2.07	341.57	219.24	7.56	0.009	3,911.94	87.12	17.49	136.85	1.38	139.86	0.063	41.40	0.00	5,014.46
	②+③自ら再生利用を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑪全処理委託量	107.91	2.07	341.57	219.24	7.56	0.009	3,911.94	87.12	17.49	136.85	1.38	139.86	0.063	41.40	0.00	5,014.46
	⑫優良認定処理業者への処理委託量	67.59	2.07	34.45	132.41	7.56	0.009	2,471.73	87.12	8.91	106.38	0.71	82.08	0.063	23.40	0.00	3,024.48
	⑬再生利用業者への処理委託量	0.37	0.00	341.57	207.10	0.00	0.009	3,911.22	0.00	14.17	97.35	1.24	129.06	0.063	18.00	0.00	4,720.15
	⑭熱回収認定業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	104.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.30	39.50	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	147.17

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 鹽アラチカ・金属くず・ガラス軽石塵くず・水銀昭明・がれき灰・灰くず・木くず・紙くず・汚泥・汚油・混合・解体廃棄物・焼石綿・特定期石綿)

有機物量		排出量		自ら直接再生利用した量		自ら直接処理立替又は譲入受けた量		自ら中間処理した量		自ら中間処理した後自ら運び出し又は輸出受け入れた量		⑪のうち再生利用業者への処理委託量	
① 不要物等発生量		① 排出量	① 5,571.68t	② 自ら直接再生利用した量	②	③ 自ら直接処理立替又は譲入受けた量	③	④ 自ら中間処理した量	④	⑤ 自ら中間処理した後自ら運び出し又は輸出受け入れた量	⑤	⑥ 自ら中間処理した量	⑥
		① 排出量	① 5,571.68t	② 自ら直接再生利用した量	②	③ 自ら直接処理立替又は譲入受けた量	③	④ 自ら中間処理した量	④	⑤ 自ら中間処理した後自ら運び出し又は輸出受け入れた量	⑤	⑥ 自ら中間処理した量	⑥
① 排出量	5,571.68t	② 自ら直接再生利用を行った量	0t	③ 自ら直接処理立替又は譲入受けた量	0t	④ 自ら中間処理を行った量	0t	⑤ 自ら中間処理した量	0t	⑥ 自ら中間処理した後自ら運び出し又は輸出受け入れた量	0t	⑦ 自ら中間処理した量	0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t	④+⑤自ら直接処理立替又は譲入受けた量	0t	⑧ 自ら中間処理した量	5,571.68t	⑨ 自ら中間処理した後自ら運び出し又は輸出受け入れた量	5,571.68t	⑩ 全処理委託量	5,571.68t	⑪ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量	5,244.66t	⑫ ⑫のうち燃え固定化処理業者への処理委託量	163.54t
⑤自ら直接回収を行った量	0t	⑥+⑦自ら中間処理した量	0t	⑪ ⑪のうち燃え回収を行った量	0t	⑫ ⑫のうち燃え回収を行った量	0t	⑬ ⑬のうち燃え回収を行った量	0t	⑭ ⑭のうち燃え回収を行った量	0t	⑮ ⑮のうち燃え回収を行った量	3,360.56t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	⑧+⑨自ら中間処理した量	5,571.68t	⑩+⑪自ら直接回収を行った量	5,571.68t	⑫+⑬自ら直接回収を行った量	5,244.66t	⑭+⑮自ら直接回収を行った量	163.54t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	3,360.56t		
⑨自ら中間処理により減量した量	0t	⑩+⑪自ら直接回収を行った量	5,571.68t	⑫+⑬自ら直接回収を行った量	5,244.66t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	3,360.56t						
⑩全処理委託量	5,571.68t	⑪ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量	5,244.66t	⑫ ⑫のうち燃え回収を行った量	163.54t	⑬ ⑬のうち燃え回収を行った量	0t	⑭ ⑭のうち燃え回収を行った量	0t	⑮ ⑮のうち燃え回収を行った量	0t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	0t
⑪再生利用業者への処理委託量	5,244.66t	⑫ ⑫のうち燃え回収を行った量	163.54t	⑬ ⑬のうち燃え回収を行った量	0t	⑭ ⑭のうち燃え回収を行った量	0t	⑮ ⑮のうち燃え回収を行った量	0t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	0t		
⑫燃え回収業者への処理委託量	0t	⑬ ⑬のうち燃え回収を行った量	0t	⑭ ⑭のうち燃え回収を行った量	0t	⑮ ⑮のうち燃え回収を行った量	0t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	0t				
⑬燃え回収業者への処理委託量	0t	⑭ ⑭のうち燃え回収を行った量	0t	⑮ ⑮のうち燃え回収を行った量	0t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	0t						
⑭燃え回収業者への処理委託量	0t	⑮ ⑮のうち燃え回収を行った量	0t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	0t								
⑮燃え回収業者への処理委託量	0t	⑯ ⑯のうち燃え回収を行った量	0t										
⑯燃え回収業者への処理委託量	0t												

(第2面)

(第3面)

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑪の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。